

保育防災アクションマイスター活動報告

認定こども園 **大野幼稚園**



①事前準備・初動体制

この講座を受講するにあたって、今年度の防災に関する課題や活動していきたいことを職員で話し合った

決まったこと

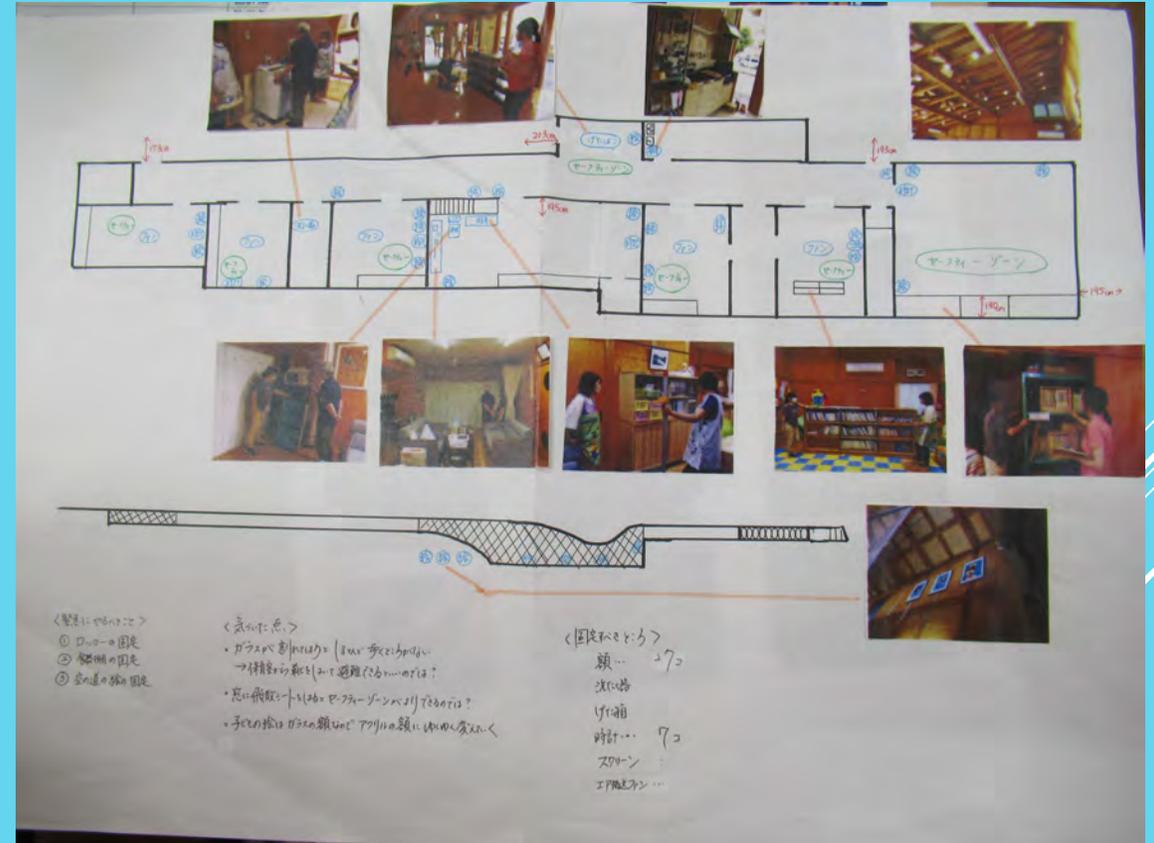
- ・ 園内の災害時における危険箇所を点検する園内探検をおこなう
- ・ 園内安全チェックリストの再確認
- ・ 防災たよりの作成



危険箇所点検のための園内探検

夏休みに全職員で実施

主に園内の地震時のガラスの飛散範囲などをメジャーを持って計測したり落下、転倒しやすいものの確認を行ったりした



探検をしてみても気づきと改善

職員ロッカー・食器棚・洗濯機・園児下駄箱が固定されていない

園内に飾られている絵の額や時計が固定されていない



園を建設していただいた業者の方とどのように固定していくか相談をし、12月に工事していただいた

また、食器棚の扉の固定などは職員で行った

<固定箇所>

職員ロッカー 食器棚 園内の絵画の額

下駄箱 洗濯機 時計



固定したことを玄関に掲示（見える化）



探検をしてみたの気づきと改善

ガラスの長さの等倍でガラス飛散範囲を計測したところ、廊下のほとんどでガラスが飛散し、避難時にほとんど歩くところが多かった



避難靴を各保育室に用意し、保育室で履いてから避難するようにした



避難時、玄関など外への出入り口の混雑が日頃の訓練の課題だったが、混雑が少なくなった



探検をしてみたの気づきと改善

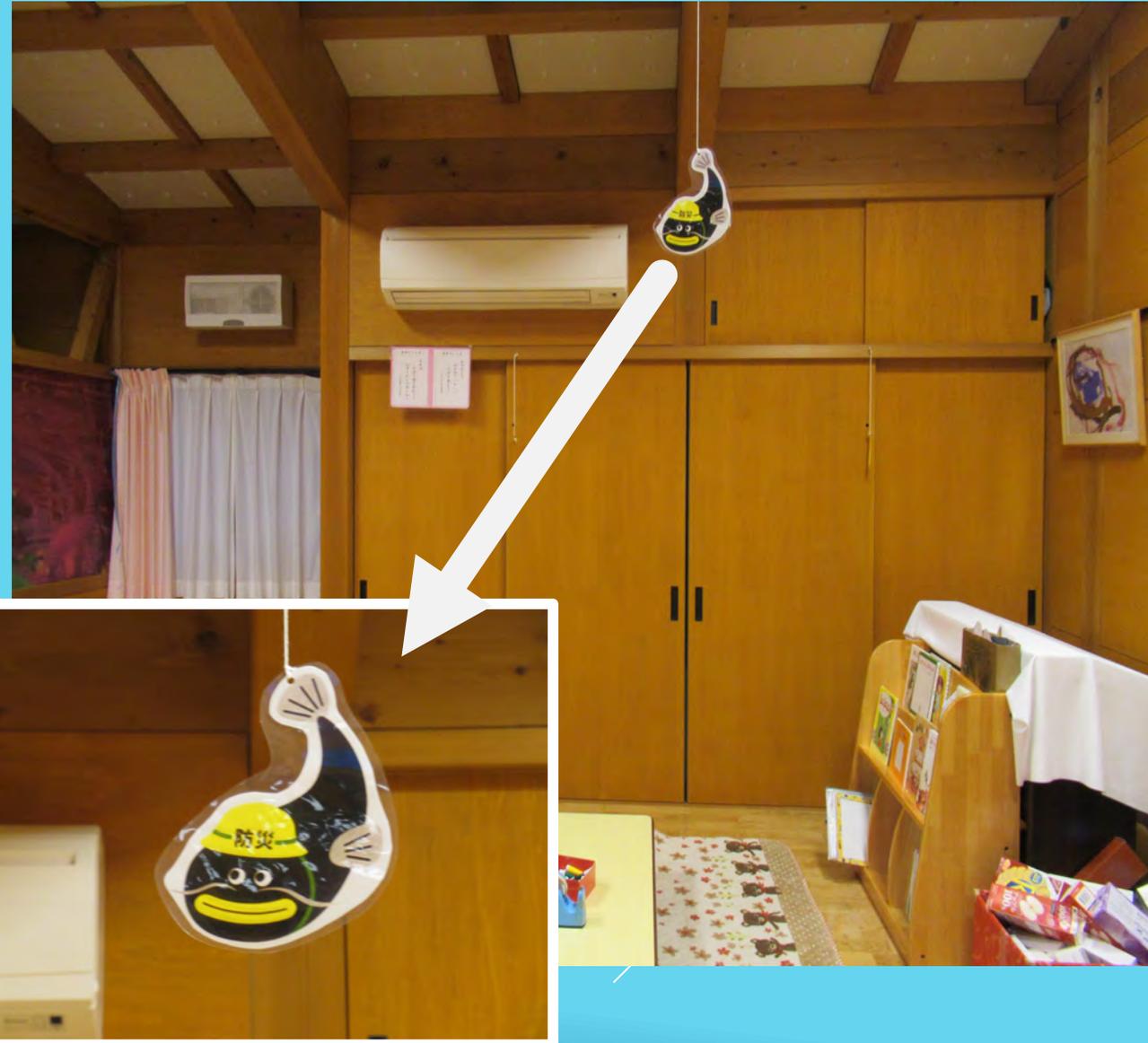
ガラス飛散範囲や落下物を考慮し、各保育室のセーフティゾーンを再確認した。いままで床に小さなシールを貼ってセーフティゾーンの目印にする方法だったが、子どもたちにわかりづらい



講座時に他の園さんから教えていただいた方法を取り入れ、セーフティゾーン上の天井から防災なまずの絵をぶらさげた



手遊びの中で防災なまずを登場させるなど生活の中で防災なまずの存在を子どもたちが気に留めることができる機会が増え、セーフティゾーンの意識づけが以前よりできているように思う



園内の安全チェックリストの見直し

本園では、園内の安全チェックリストを作り、毎月、各職員が点検

改善したこと

一人で1年間同じ場所を点検していた

➡ 毎月、二人で点検し、点検場所も毎月かえて実施し、様々な職員の手で点検できるようにした

効果

気になったところなどを二人で相談しながら点検できることで、以前より改善すべき点が挙がってくるようになった

1 1月発行

- 園内危険箇所チェック実施の報告と今後の改善について
- 2 園期避難訓練計画
- 避難訓練の様子
- 防災アンケート（ご家庭編）の結果報告

国土交通省パンフレット「マイタイムラインをつくらう」を同時に配布

認定こども園 大野幼稚園
防災だより NO. 2
「災害時に子どもの運命を変えるのはわたしたちだ！」

園内防災危険箇所チェックを行いました

夏休み中に園員全員で、災害が起こった際に想定される園内の危険箇所を確認しました。今回の確認で改善すべき点も、気付いた点が数箇所ありました。今後、随時改善していきたいと考えております。

- 地震の際、ガラスが割れてしまうと、落下する物にガラスの破片が飛び散る
- 保育室から靴を履いて避難した方がよいということで、各保育室に避難靴を準備
- 園内のガラスは強化ガラスですが、更に防割シートを貼るとセーフティゾーン（ガラスなどが飛び散りにくい場所）が増やせるのではないかと
- 業者と相談していきます
- 家具や絵の額などが地震に耐えられない固定がなされていないものがある
- 業者に依頼し、11月に園定予定
- 各クラスのセーフティゾーンの再確認
- 子ども達がセーフティゾーンへ逃げやすくなるように、天井から防災なまずのイラストをぶら下げやすくなりました

避難訓練年間計画(二園期の計画)

月	訓練形態	設定時間	発生想定	訓練内容・備考
9月	火災訓練	自由遊び	火災発生	避難経路や避難方法について職員で確認する 1. 防火服、作業靴、消火器の確認 2. 出火したところから、第1避難所(A・B)へ避難させる 3. 避難所(A・B)の人数の確認・連絡を行う 4. 園庭に多人入ったときの避難経路の確認 5. 定員以上の人数を収めて行動する 6. 行動訓練→空の避難靴の履き方
10月	地震訓練 地震発生 (避難訓練)	組別園庭活動	地震発生後 避難発生 出火	職員が指定した場所にて、地震発生から避難させる 定員以上の人数を収めて行動する 出火したところから、第1避難所へ避難させる 避難所からの連絡を受ける 防火服・作業靴の確認 消火器の確認 行動訓練→空の避難靴の履き方
11月	地震訓練 =防災ダイヤル(11/1) (保護者)	不定時	震度5以上	園庭以外の職員に設定時刻を知らせず、避難訓練を行う 恐怖心を抱かせないよう十分注意しながら、落ち着いて安全な場所へ避難する 防火服・作業靴の確認 消火器の確認 地震発生時の避難経路や避難方法の確認
12月	火災訓練	不定時	火災発生	園庭以外の職員に設定時刻を知らせず、避難訓練を行う 恐怖心を抱かせないよう十分注意しながら、落ち着いて安全な場所へ避難する 防火服・作業靴の確認 消火器の確認 地震発生時の避難経路や避難方法の確認

*11月1日に防災ダイヤルの訓練を予定しています。ぜひこの機会に再確認の機会に園内危険箇所の確認をお願いいたします。前日に玄関の連絡ボードにてお知らせ致します。やり方の分からない方は職員にお尋ね下さい。(使用方法が記載してあります用紙は4月に配布しています)

避難訓練を行いました

10月14日 震度3程度の地震後、メーキングルームから火災という想定で実施しました

非常ベルがなると、防災なまずの下へ集まりました。各保育室から避難靴を履いて避難しました

消防署の方に避難訓練を見て頂きました。その後、ポンプ車を見させて頂きました

＜消防士の方の感想＞
 「子ども達も保育者も訓練がとても浸透している様子がみられて、非常時の行動が身についていると感じました」

各保育室から靴を履いていくことで、玄関で温雑することもなく非難することができました。

10月17日 空の道の避難穴からの避難訓練をしました

こちらにも防災なまずを掲示しました

子ども達は落ち着いて避難穴から降りることができました。今後災害の状況に応じて避難穴の使用も考えていきたいと思っております。

【おねがい】
 各保育室にそれぞれの年齢に合わせた避難靴を用意していますが、今回の訓練で今年度の子ども達の足に合わないものも数点ありました。今後、より色々なサイズの靴の用意をしていきたいと思っています。ご家庭に履いていない靴などがありましたら、ご協力お願い致します(20cm前後を特に必要としています)

ご家庭における防災に関するアンケート集計報告

Q1 「大野市総合防災マップ」を知っている YES 68% (13/19) NO 32% (6/19)

Q2 「防災マップ」を読んだことがある (Q1でYESの方) YES 54% (7/13) NO 46% (6/13)

Q3 「防災マップ」の「わが家の避難方針」に記載したことがある (Q2でYESの方) YES 28% (2/7) NO 72% (5/7)

Q4 「マイタイムライン」という言葉を知っている YES 5% (1/19) NO 95% (18/19)

Q5 「マイタイムライン」を記入したことがある YES 0% (0/19) NO 100% (19/19)

Q6 ご家庭で取り組まれている防災

- ・ ペットボトルに水、簡易トイレを準備
- ・ 非常金の準備をしている
- ・ 防災リュックを造っている
- ・ 500mlの水を数本、冷蔵庫に凍らせている
- ・ 3日分の水、食料を確保
- ・ 避難訓練(家の中で地震の避難訓練)
- ・ テントで寝てみる
- ・ 防災グッズを使ってみる

アンケートのご協力ありがとうございました。これを機会にご家庭での防災について改めてご家族で考えて頂ければ幸いです。なお、マイタイムラインにつきましては、別紙をつけて頂きますので、参考にして下さい。今後、幼稚園における防災についてのアンケートの作成を予定しておりますので、またご協力頂けますようよろしくお願い致します。

2月発行予定

- ・ 防災アンケート（幼稚園編）の結果報告
- ・ 避難訓練の様子（積雪時）
- ・ 園内の落下・転倒しやすい物固定完了について
- ・ 備蓄品購入計画リストを作成したこと
- ・ 保育防災アクションマイスター全国集会にて本年度の取り組み発表をしたこと
- ・ 来年度へ向けて

②情報収集・安否確認

情報収集

災害時の情報収集のために手動発電のラジオを職員室の防災リュックの中に常備

→ラジオを実際に職員で聞く

→充電装置の保証が10年程度と書かれていたので、毎年正常に動くかの確認をしていくほうがよいのではという気づきにもなった

安否確認

安否確認としては災害用伝言ダイヤルを使用

→保護者へ向けて、年1回の訓練を行っていたが、年1回ではやり方を忘れてしまうという保護者の意見もあり、来年度は園期ごとに年間3回行うようにする予定

令和3年10月13日

保護者各位

大野幼稚園

園長 藤 兼量

災害用伝言ダイヤル実施訓練のお願い

災害発生に備えて、園との連絡が取れなくなった場合、災害用伝言ダイヤル(171)の利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、訓練をさせていただきます。

<やり方>

①171に電話をかけ、音声ガイダンスの指示に従い、ダイヤルを押して下さい。

※その際、「暗証番号なし」の指示の方を選んで下さい。

※園の電話番号は0779-65-3936で入力して下さい。

②入力後、「訓練です。大雨により幼稚園前が氾濫しています。只今、避難場所である最勝寺会館2階に避難しています。子ども達は全員安全確認がとれていますので、ご安心下さい。保護者のみなさんは至急お迎えに来て下さい。」というメッセージが流れます。

③そのメッセージを聞いて頂いたことで、お子さんの安否確認がとれたということになります。

再生確認時間は10月15日(金)8:30~24:00です。もし、伝言メッセージが聞けなかった場合はお知らせ下さい。

今回の訓練は、緊急連絡網を利用せず、保護者の方みなさんにそれぞれ体験して頂きます。

尚、お聞きになった後の園への連絡は、今回はありません。

どうぞご協力、よろしくお願い致します。

※春にみなさんに配布しました大野幼稚園防災についてのお知らせの手紙を

今回もう一度配布させていただきますので、あわせてご確認下さい。

③消火・救助救出・応急救護

- ・ AEDのパットの使用期限に気づかず、アラームで気が付いた。
→備蓄リストにAEDの使用期限も載せ、期限が切れる前に認識できるようにした
- ・ AED講習・消火訓練を今年度は行えなかった
→来年度は計画に組み入れられるようにし、AED講習については保護者も参加できるように計画していく予定

④ 避難訓練

4月に年間避難訓練計画をつくり、毎月、様々な災害（火事・地震・水害）、状況を想定して訓練を行った

毎月、訓練の担当職員を交代し、実施の詳細を決めている

今年度の新たな取り組み

- ・ストップウォッチで避難時間の計測
- ・通報訓練を色々な職員でおこなう



職員間でトランシーバーを使って子どもたちの安否などのやりとりを行っている様子

10月には消防士の方にも訓練の様子を見ていただいて、訓練のお話をしていただいた

子どもたちにとっても見ていただくことで、緊張感をもって取り組めた訓練となった



積雪があるときの避難

積雪があった時は、除雪し道を作り
避難経路を確保するようにした



園庭



冬は園庭の下駄箱が雪囲いで撤去されるため、園庭用靴を非常用としてまとめて戸外園庭トイレにて保管

空の道（空中遊具）から避難穴をあけての避難訓練



避難穴の開き方や、子どもの降ろし方を毎年確認していく必要を感じた

避難穴のふたを開けることが危険なことや、避難には複数の職員の手が必要になることから、通常の通り道を通っての避難の方が良い場合もあるということで使用を慎重に考えるべきという気づきにもなった

避難穴が緊急時、とっさに見つけることが難しいということから防災なまずのイラストを避難穴の天井からぶら下げ、避難穴のふたの両面にも貼った

空中遊具



避難訓練の課題

- ・避難靴は人数分用意してあるが、その年によって足が大きな子がたくさんいたりすると履けないということもあるので、避難靴のサイズをより充実させていく必要がある
- ・近年、一次避難場所までの避難で最終避難場所までの避難ができていないので、年間計画に組み込んでいきたい
- ・園児の避難場所が2か所に分かれたときの訓練（双方間の連絡訓練）ができなかったので、来年度は意識的に取り入れていきたい
- ・早朝や夕方、なにかの行事等、特別な活動を行っているときなど、より様々な状況を想定して避難訓練を行っていきたい
- ・ストップウォッチを使って避難時間を計測していたので、来年度その計測時間を活用して避難訓練を振り返りたい
- ・少人数保育施設における災害時の園児の引き渡しについては実施の仕方自体から検討していきたい

⑤ 地域や保護者との連携

保護者との連携

園内備品の固定を保護者に協力してもらっている園があったと講座でお聞きする



園内の防災活動に協力していただくためのとっかかりとして、どのように保護者にアクションを起こしていけばいいだろうか



家庭での防災についてお聞きしたり、考えていただくことで、防災に関心を持ってもらい、そこから園の防災にも関心をもってもらえるのでは



防災アンケートを実施してみよう

防災アンケートの保護者への配布

まず10月に家庭編のアンケートを行い、それから鎌田さんのアドバイスをいただき、12月に幼稚園編のアンケートを実施

<家庭編>

大野市総合防災マップについて マイタイムラインについて
家庭での防災活動について

<幼稚園編>

避難訓練について 災害用伝言ダイヤル訓練について
AED講習について 緊急連絡グループについて
園の備蓄品について

「防災に関するアンケート（幼稚園編）のお願い」

少しずつ肌を感じる風が冷たくなり、冬の訪れが感じられるようになりました。日頃、大野市幼稚園の教育にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

10月に配布しました防災に関するアンケート（御家庭編）に続きまして、幼稚園における防災についてのアンケートを作成致しました。毎月の避難訓練をはじめ、職員で幼稚園内の防災活動について、実施やその改善などを行っておりますが、それらの活動につきまして、より保護者の方々と情報を共有し、考えていただくと考えております。お忙しいところお手数ですが、下記のアンケートにご回答頂き、園に提出して下さい。ご協力お願い致します。

- Q1. 幼稚園では毎月一回避難訓練を実施していますが、参加してみたいと思いますか？
A: はい B: いいえ C: 参加してみたいができない
- Q2. 11月に実施した防災ダイヤル訓練内容を確認しましたか？
A: はい B: いいえ
- Q3. 防災ダイヤル訓練は毎月1・15日に実施することができますが、一年間で何度実施した方がよいと思いますか？
()回 <理由> ()

Q4. 幼稚園にはAED（体外式除震器）を設置しており、職員は定期的な講習の方に来て頂き、研修を行っています。保護者対象のAED使用特約講習に参加してみたいと思いますか？
A: はい B: いいえ C: 講習の時間による（ 分程度なら可能）

Q5. 保護者緊急連絡グループの活用方法について、要望があればお書き下さい。
[]

Q6. お子様を園に預けている時間に災害が発生した場合、不安なことほどなななことですか？
[]

Q7. 幼稚園では下記のものをご現在備蓄しています。今後、備えて欲しいもの、または備えを強化して欲しいものはありますか？
<備蓄品> 救急セット（ティッシュ・傷バン・包帯・ガーゼ・不織布テープ・きざ菜）・長期保存水・乾パン・使い捨てカイロ・備蓄ラジオ・マスク

Q8. 幼稚園における防災活動・対策について、感想・ご意見・ご質問、または改善して欲しいという要望があればお書き下さい。
[]

<お願い> 災害などで幼稚園を避難所として使用する場合を考え、防炎用のブランケット等を備蓄しようと思っております。ご家庭で不要なブランケット等がありましたら、幼稚園に寄付して頂けると大変有難いです。どうぞよろしくお願い致します。

以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果から今後の取り組みの検討

- ・ **緊急連絡グループ内での連絡の伝達がうまくいかず時間がかかってしまうのが迅速性にかけるのではないか**
→保護者間でグループを作って関係づくりをしていける緊急連絡グループは残しておきつつ、緊急を要するものは一斉メールでの伝達にして、伝達方法を使い分けていく。
そのメールの返信は園へ電話連絡していただくようにする予定
- ・ **やり方を忘れてしまわないように複数回、災害用伝言ダイヤル訓練を行うのがよいのでは**
→園期ごとに計3回、来年度は行えるようにしていく
- ・ **90%以上の保護者が園でのAED講習に参加してみたいと回答**
→実施できるように計画していく
- ・ **子どもたちが避難する場所を文字で〇〇避難所と書かれていてもどこなのか分かりにくいという記述**
→保護者に配布する手紙に書かれている避難場所名と共に場所の写真を載せてはどうか
避難所での引き渡し訓練を行い実際の場所にきていただくのはどうか
- ・ **病気をかかえている園児の保護者から、災害時の対応について不安という記述**
→職員では子どもたちの健康状態の共通理解を図れるが、災害時、職員以外にも周知する必要を想定し、一人一人の健康調査票のコピーを防災リュックに入れておく

⑥食料等の備蓄 & その他

- すでに全園児・職員の防災ヘルメットを常備しているが、本年度、耐用年数が切れていたため、新しいものを購入
- 引き渡し訓練や個人懇談のときに各クラスにおいてある防災リュックの中身を保護者の方に向けて展示
- 保護者から寄付していただいた防寒用ブランケットや避難靴を保育室に備蓄



備蓄品の内容や量について職員間での話し合い

備蓄として足していくべきもの、備蓄に必要な量を職員で話し合った
予算のこともあり、必要なものを5年間かけて揃えることにし、備蓄リストを作成
このリストを基に新たに必要なものを考えていきながら毎年購入していく予定

備蓄品リスト

購入予定年	購入予定品	およそ金額
2023	おかゆ(10袋3240円) おにぎり(12袋2620円) 水(500ミリ24本2380円) ×2 簡易トイレ(100回4999円) マッチ ポリタンク モバイルバッテリー(6780円) ×2 あめ お菓子	
2024	缶パン(6缶セット3280円) おかゆ(10袋3240円) おにぎり(12袋2620円) 簡易トイレ本体(1650円) ×3 あめ お菓子	
2025	缶パン(6缶セット3280円) おかゆ(10袋3240円) おにぎり(12袋2620円) あめ お菓子	
2026	ホッカイロ 簡易トイレ(100回4999円) あめ お菓子	
2027	カセットコンロ ライト×6 電池 レスキューシート(4枚セット1580円) ×3 あめ お菓子	

最後に...今後の課題



・避難訓練の内容充実

より色々なシチュエーションでの訓練を実施していくこと（早朝・夕方・不定時、けが人不明者あり 等）

・保護者の園防災活動への参加

防災アンケートの結果を踏まえ、A E D講習や避難訓練の参加、防災ダイアル訓練の実施回数を検討し、来年度にとりいれていきたい その他にも園防災に関わっていただける方法を考えていきたい

・地域との連携

防災に関して園周辺の方々との関わりや共通理解がつけられていないので、どのように関係づくりをしていくか、まず職員間で話し合っていきたい

担当だけでなく、職員全員で防災意識をより高めていけるような役割分担や話し合いをこれからも行い、子どもたちを必ず守るんだという意識を職員がもち、園防災活動を行っていきたいとおもいます

ご清聴ありがとうございました